

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」交付申請（実績報告）関係様式

市町名 352063_防府市

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

市町名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
352063_防府市	①学校運営上の課題	教職員の時間外勤務の是正	市内の教員の80%超が、月45時間以上の時間外勤務を行っており、教員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題となっている。	・市内公民館を拠点に配置した地域学校協働活動推進員15名と各校の学校運営協議会委員を中心として、教職員の働き方改革に対する地域・保護者の理解を図る。 ・地域学校協働活動推進員が中心となって学校支援ボランティアをコーディネートし、教職員の業務負担を軽減する。	学校・家庭・地域の役割分担の明確化により、地域との協働が進み、教員の業務負担が軽減する。	月45時間以上の時間外勤務を行う教員の割合	62	%	40	40	3 ・市内公民館を拠点に配置した地域学校協働活動推進員が地域の行事や公民館の行事と学校をつなぐことで、生徒児童の地域貢献活動の場を企画提供できた。また、地域行事などの打ち合わせや当日の子どもの管理などを地域学校協働活動推進員が行うことで、休日の教職員の業務を縮減できた。 ・学校運営協議会等で教職員の働き方改革に対する地域・保護者の理解を深めたことで、学校行事や授業でのPTAや地域の方の学校支援の回数が増えたり、新しい支援のアイデアが生まれたりした。	http://www.city.hofu.yamaguchi.jp/oshiki/39/tjikirennkeidayori.html
352063_防府市	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	新型コロナウイルス感染症の流行以降、放課後子ども教室の実施回数が減り、児童の体験活動の場が減少している。	・地域学校協働活動推進員、放課後子ども教室コーディネーター、他課と放課後子ども教室についての情報交換の場を持つことにより、好事例を共有して活動を活性化させたり、新たなボランティアを確保したりし、年間190回以上の実施できるようにする。(前年度175回)	多様な体験活動を行うことにより、友だちや地域と積極的に関わろうとする児童や他者を思いやることのできる児童が増える。	市内各小学校での放課後子ども教室の実施回数	175	回	190	211	4 ・休止中だった学校の地域住民へ市内で実施している放課後子ども教室の情報を発信説明したり相談にのったりしたこと、休止していた教室が2つ再開し、児童の体験活動の場が増えた。 ・放課後子ども教室のコーディネーター等を対象とした情報交換の場と体験に関わる指導者の養成講座を開催したことで、ニュースポーツや神楽など、各教室の実施できる体験の分野が広がり、実施回数も増えた。	http://www.city.hofu.yamaguchi.jp/oshiki/39/tjikirennkeidayori.html